



本 庄

ロータリークラブ会報

ロータリーは分かちあいの心

45 - 37 第 2188 回 例会 4 月 10 日 2008 年 4 月 24 日 発行

2007~08 年度 国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド 第 2570 地区 ガバナー 石川喜彦
会長 岡崎正六 会長エレクト 金子 弘 副会長 武井包光 副会長 橋本恒男 幹事 矢島淳一

《本日の例会》

雑誌月間

卓 話

進 行 今泉憲治 S A A サブ
点 鐘 午後 12 時 30 分 岡崎正六 会長
ソング 我等の生業
童 謡 おぼろ月夜
お客様 日豪青年相互訪問学生

今泉 祐 君
第 2570 地区ロータリーの友地区委員
斎藤金作 様

〔会長挨拶〕

岡崎正六 会長



皆様今日は、GSE（研究グループ交換）対応には戸谷清一さんにホストをしていただき、また会員の皆さんにご苦労頂き、お陰様で大役を果たす事ができました。ケンタッキー団員 5 人のメンバーの方々大いに感激されていました。本庄 RC の皆さんに宜しくお伝えくださいとのコメントを頂きました。交換学生ポール君 2 日間通訳をして頂きましたが、水を得た魚のように生き生きした 2 日でした。有難うございました。

本日のお客様をご紹介します。2570 地区ロータリーの友地区委員 斎藤金作様です。後ほど卓話をお願い致します。日豪青年相互訪問学生 今泉 裕君です。当会員今泉さんのご子息です。

次週（4 月 17 日）は 20 日地区大会の振り替え休日です。おまちがない様お願いします。また、地区大会には大勢の参加をお願い致します。

〔幹事報告〕

矢島淳一 幹事



皆様、こんにちは、幹事報告を申し上げます。先日、地区大会バス利用者確認の案内を F A X いたしました。返信先の F A X 番号が記載されていませんでした。お詫び申し上げます。にもかかわらず、皆様ご返信ありがとうございました。当日は 8 時 30 分商工会議所集合ですのでよろしくおねがいたします。

G S E メンバーが 4 月 7 日におみえになりました。沖電気、エーザイ、商工会議所、市役所、会員の皆様方には大変ご協力頂きありがとうございました。

「友」インターネット速報、国際交流協会会報、学友会ニュース、回覧いたします。ご覧になってください。なお 4 月 17 日は 4 月 20 日地区大会の振り替え休会となりますのでお知らせいたします。以上で本日の幹事報告を終わります、ありがとうございました。

〔お 礼〕

インカミングガバナー 真下和男 様

拝啓

桜花咲き誇る良い季節となりました。皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

先日は、貴クラブの創立45周年記念特別例会にお招きをいただき、たいへんお世話になりました。

ロータリーは分かち合いの心「私たちは家族」が長い伝統の、貴クラブに具現された集まりに臨席できたことは、これからの私のロータリー活動にも大きな収穫であったと感じております。また、記念行事、懇親会は意味深く、かつ楽しい時間でありました。貴クラブがその伝統のうえに、新たな発展を積み重ねますことを祈念してお礼とさせていただきます。

最後になりますが、次年度は加藤玄静ガバナーノミニーが始動なさいますので、貴クラブをあげてご支援賜りますようお願い申し上げます。

敬具

日豪交流学生お礼挨拶

高橋福八 パストガバナー

行ってくれば日豪交換学生の良さは良く分かりますので今泉さんには報告のほど宜しく申し上げます。

日豪青年相互訪問学生

今泉 祐 君



青い海と青い空。クルーザーにゆられてちょっと行けば野生のアザラシと一緒に泳いだり、夜には満天の星空に天の川が見えて、流れ星が10分に一回は見られる・・・。そんな大自然に囲まれたオーストラリアでした。また、オーストラリア人はみんな明るく笑顔が絶えません。とても人なつっこい性格の持ち主です。見ず知らずの他人でも「ハイ！」と手を振ってくれます。スーパーのレジの人ですら「調子はどう？」と会話してくれます。ひとつにはオーストラリアの人口は日本と比べて少なく、地域の連帯感が強いのだと思います。通りを歩けば人に会うのはまれで、それによって一期一会のような感覚をそなえているのだと思います。人とのつながりを大切にするオーストラリア人から学ぶことは多く、とても魅力を感じました。僕も、そういった他人との関わり方を大切に生きていきたいと思います。

〔委員会報告〕

世界社会奉仕委員会 岩淵富男委員長



書き損じはがきは、郵便局にて精算し、金額が確定しました。南RCへ50,000円、当RCは404,056円となり、地区へ送金致します。

45周年実行委員会 八木茂幸 委員長



決算に向け、支払いは現在清算中です。本日、例会終了後、実行委員会を開催致します。

移動例会のお知らせ

親睦委員会 中島高夫 委員長



春の移動例会が5/22に開催されます。

社会奉仕部門セミナー報告 社会奉仕委員会 温井一英 委員長



RCで後援を致しました。5 / 18開催のイースタンリーグの野球観戦のチケットが届いております。

〔卓話〕 雑誌月間にちなんで 第2570地区ロータリーの友地区委員 齋藤金作 様



草創期を経た若木のロータリーが一挙に花を咲かせ始めたのは、創設5年後の1910年頃からであろうか。この年は10月に全米ロータリークラブ連合会が結成され、P.ハリスは初代会長に就任し、ロータリーは初めて国境を越え、35番目のクラブをカナダへ、翌年アイルランドからイングランドにクラブを設立することに成功、国際運動へ脱皮する正に絶頂といえる年であったといえる。

基本理念はやがて世界中に浸透し、人類史上最大の社会的偉業の一つに数えられている運動にこの頃生命の息吹きが吹き込まれ、確固たる揺るがぬ基盤ができ上がったわけである。

情報の共有保持、適切な情報相互交換を主眼として機関紙（The National Rotarian 12年9月 The Rotarianと改題）が発刊されたのも必然的に考えられた末に取られた手段であったに相違ない。

戦後1949年RIに復帰した日本のクラブは、単独で一地区を構成し、国内が二地区に分割されるに及んで、共通認識の維持と緊密な情報交換手法として、機関紙「友」は1953年1月に創刊された。先人達のロータリーに対する熱き思いと、意気の雄壮にして軒昂たるものを感じ、畏敬の念を持たざるを得ない。

「友」はRIから何等の指示を受けることもなく、日本のロータリアンの自由意志によって刊行され

て来たものであり、その点戦後日本のロータリーは「友」と一緒に成長発展して来たともいえる。

27年後1980年に至り、RIの地域雑誌としての資格を得た結果、RI指定記事を掲載する指示と義務を負うようになり、「友」は二面性を持って今日に至っている。

「友」を開くとその編集構成は横組みが専門課題（教科書的性格）、縦組みが一般的教養課題（同人雑誌的性格）となっているが、この淵源もこの辺にあると私は認識している。

さて、クラブ雑誌委員長は例会時に会長から毎月最低一度は発言のチャンスを与えられ、委員長の案内でメンバーは均しく「友」を手にし、一斉にページを捲るのだが、この僅かな数分間こそ出席者全員が完全一体化する瞬間であるといえると思う。

誘導されページを開いた人達は、否応なしに自分と活字との間に会いを持ち、ページを閉じた後も、自分その陰影は誰からも完全消去されることはないはずである。

この繰返しがクラブメンバーに「友」に対する関心と興味を呼び起こさせ、愛着を覚えさせ、心の一隅に「友」がいつも同伴するようになり、ロータリーの味、深さ、本質までが徐々に自然理解されてゆくことに繋がって行くことになる。

この意味で「友」こそ間違いなく、ロータリアン1人1人のよき友人であり、よき伴侶であり、影の存在でもある筈である。

ロータリー歴

1961（昭和36） 武蔵（現入間）ロータリークラブ入会

1965-66（昭和40-41）クラブ幹事

1973-74（昭和48-49）357地区 地区幹事

1976-77（昭和51-52）クラブ会長

1985-86（昭和60-61）257地区第8分区代理

1986-87（昭和61-62）地区国際奉仕部門委員長

1990-91（平成2-3） 入間南ロータリークラブ特別代表

1994-95（平成6-7） 地区クラブ奉仕部門委員長

1962～2007年度まで45年間100%出席維持職業

丸大観光株式会社 取締役会長



出席率

会員数	出席免除 会員数	出席義務 会員数	出席 会員数	出席率
74名	8名	66名	43名	69%

次回プログラム

日時：4月20日（木曜日）

第三例会 45-37 第2189回

地区大会 人間市 武蔵野音楽大学

〔ニコニコBOX〕

齋藤金作 様

「卓話にお招きいただき、ありがとうございます。」

今泉 祐 君

「オーストラリアありがとうございました。」

今泉憲治 会員

「今日は、息子がお世話になります。」

関口礼子 会員

「アメリカ ケンタッキー州からの GSE の方が来日して、もう一度来日したくなった良い国とおっしゃっていました。」

茂木 聡 会員

「おかげさまで、子供が大学入試無事済みしました。」

石原 修 会員

「第3回ゴルフコンペの申込が本日締切りとなっています。よろしくお願いします。」

藤井 仁 会員

「ニコニコBOX委員会の皆さん。いつもご苦労様です。」

竹並栄一郎 会員

「早退いたします。」

「第2570地区ロータリーの友地区委員、齋藤金作様。雑誌委員会にちなんでの卓話よろしくおねがいします。」

岡崎正六 矢島淳一 武井包光 三宅健吉
田中 克 下山正男 加藤玄静 関口礼子
佐藤賀則 橋本恒男 坂本優蔵 八木茂幸
山田喜一 岩淵富男 巴 高志 浅香 匡
温井一英 澁澤健司 中島高夫 萩原達夫
横尾セツ 内野昭八郎 野村正行 古瀬末雄
梅村孝雄 井下 典 金子 弘 野沢章夫
金子 章 高橋福八 松原幹男 立石秀寿
岡芹正美 高柳育行 中村 孝

本日投入金額合計 49,000

広聴広報委員会 小此木利明・山田喜一・金子 章

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30
事務所 埼玉グランドホテル本庄700号
〒367-0041 本庄市駅南2-2-1
TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

例会場 埼玉グランドホテル本庄
Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp
ホームページ
<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>